

衆議院農林水産委員会ニュース

【第198回国会】令和元年6月5日（水）、第16回の委員会が開かれました。

1 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・吉川農林水産大臣、小里農林水産副大臣、濱村農林水産大臣政務官及び政府参考人に質疑を行いました。

（質疑者）木村次郎君（自民）、関健一郎君（国民）、緑川貴士君（国民）、佐々木隆博君（立憲）、大串博志君（立憲）、田村貴昭君（共産）、森夏枝君（維新）

（質疑者及び主な質疑事項）

木村次郎君（自民）

- （1）リンゴ黒星病関係
 - ア 新規農薬の登録までの見通し
 - イ 新たな防除技術の確立に向けた取組
 - ウ 放任園地の発生を未然に防ぐ対策の必要性
- （2）米の多様な品種の普及に向けた取組
- （3）水稲収穫量調査関係
 - ア 調査結果が生産現場の実感と乖離しているとの意見に対する受止め
 - イ 調査に用いるふるい目幅を実態に合ったものとする必要性
- （4）様々な品目・地域におけるスマート農業推進に向けた取組についての農林水産大臣の見解

関健一郎君（国民）

豚コレラ関係

- ア 非清浄国との認定を行う機関及び基準
- イ 現在発生している豚コレラに対する備蓄ワクチンの有効性及び備蓄量
- ウ ワクチン接種のデメリット
- エ 非清浄国であることを理由に輸入を停止している国の有無
- オ 仮に日本が非清浄国になった場合の輸入圧力についての認識
- カ 一般的に豚に接種されているワクチンの種類
- キ ワクチンを接種しても生産者の衛生管理意識は低下しないとの見解についての認識

緑川貴士君（国民）

八郎湖の水質改善関係

- ア 海水の導入による水質改善についての認識
- イ 汽水域でのヤマトシジミの養殖構想への見解
- ウ 汽水化の取組に対する見解

佐々木隆博君（立憲）

- （1）日米貿易交渉関係
 - ア 8月に大枠合意するとの密約があるのではないかと指摘に対する見解及び交渉スケジュール
 - イ 日米貿易交渉を進めるに当たり、CPTPP協定を見直す必要性
- （2）農業次世代人材投資事業関係

- ア 予算減額による事業継続への影響
- イ 青年就農に対する事業の充実についての農林水産大臣の見解

大串博志君（立憲）

- (1) 諫早湾干拓事業関係
 - ア 開門を強制しないよう国が漁業者に求めた請求異議訴訟において、最高裁判所が上告を受理し、弁論を開くことを決定したことについての農林水産大臣の所感
 - イ 関係省庁との連携において農林水産省がどのようなイニシアティブを取るのかについての農林水産大臣の見解
- (2) 棚田の現状及び国の支援の状況
- (3) 棚田において戸別所得補償制度を復活させる必要性についての農林水産大臣の見解
- (4) 中山間地域等直接支払制度の執行を早める取組の進捗状況及び今後の方向性

田村貴昭君（共産）

- (1) 日米首脳会談を受けて、農林水産省が影響試算等を行っているか否かの確認
- (2) イカ釣り漁業の集魚灯利用による違法操業に対する認識の確認
- (3) 農業次世代人材投資事業の予算減額に伴う現場の混乱への対応
- (4) 棚田地域振興のために戸別所得補償制度を取り入れる必要性

森夏枝君（維新）

東日本大震災復興関係

- ア 放射性物質の除染作業によって除去された土壌が保管されている小谷他仮置場の現状
- イ 元来農地であった仮置場での営農再開への支援及び風評被害対策
- ウ 福島の被災農家に対する農林水産大臣の思い
- エ 福島イノベーション・コースト構想の取組内容及び進捗状況

2 棚田地域振興法案起草の件

- ・古川康君外4名（自民、立憲、国民、公明、維新）から、起草案を成案とし委員会提出の法律案として決定すべしとの動議が提出され、提出者古川康君（自民）から趣旨説明を聴取しました。
 - ・提出者古川康君（自民）に対し発言がありました。
 - ・採決を行った結果、全会一致をもって起草案を成案とし、これを委員会提出の法律案とすることに決しました。
- （賛成－自民、立憲、国民、公明、共産、維新）
（発言者）田村貴昭君（共産）

（発言者及び主な発言内容）

田村貴昭君（共産）

- (1) 農業生産活動のみに着目・依存した棚田の維持を非現実的と考えた理由
- (2) 棚田で米を作らなくても棚田地域の活性化さえよければよいということではないことの確認
- (3) 起草案において棚田における農業自体を直接支援する財政措置が盛り込まれていない理由
- (4) 所得補償も含め棚田に対する新たな支援措置を検討する必要性